

岡崎市シビックセンター 公演で NFT デジタルスタンプを初導入

～公演前後に広がる新たな顧客体験の創出を目指す～

文化施設の運営・コンサルティング業務を展開するサントリーパブリシティサービス株式会社(本社:東京都江東区 代表取締役社長:千大輔 以下 SPS)は、指定管理者として岡崎市シビックセンター(愛知県岡崎市)の運営を行っています。

このたび初の試みとして、6月9日(日)に開催された「アンサンブル天下統一 2024」公演において、NFT デジタルスタンプの配布を実施しました。また同日にバックステージツアーも実施するなど、SPS は公演そのものだけでなく、公演の前後を含む顧客体験価値の向上に取り組んでいます。

取得率 17%、大都市を上回る結果に



NFT デジタルスタンプ取得時



バックステージツアーの様子

今回、公演来場者の NFT デジタルスタンプ取得率は全体の 17%に達しました。この割合は、都内の公演における平均値を上回っており、本施設において新たなテクノロジーへの関心の高さや、NFT が持つ独自の価値への期待感が高いことが示されました。また、多くの方が公演の休憩時間に取得したことから、待ち時間を有効活用し、新たな体験を創出することができたと考えています。このように来場者から積極的な反応を得ることができ、NFT デジタルスタンプの配布が新しい顧客体験の一部として評価されたと言えます。

また、終演後に実施したバックステージツアーでは、応募者の中から抽選で選ばれた約 30 名がガイドと共に舞台裏を見学しました。通常は公開されていないエリアやアーティストが創り上げたステージの裏側を間近で体感いただき、公演後の余韻を感じながら、新たな視点でお楽しみいただける機会を提供しました。参加者アンケートでは、回答者の 100%が「満足」と答え、顧客体験価値の向上に寄与したことが分かりました。

“鑑賞”だけじゃない 双方向の体験で公演の魅力最大化



配布されたオリジナルスタンプ

従来の鑑賞体験に加えて、NFT デジタルスタンプを活用した特別企画、バックステージツアーの提供など、一方的に観るだけではないインタラクティブな要素を取り入れることで、来場者はより深く公演やアーティストと関わることができ、一層充実した顧客体験を生み出すことができます。

今回の公演は「アンサンブル天下統一」結成後初のチケット全席完売となりました。また、初めて鑑賞した方の割合も増加しており、新たな来場者層の拡大が見られました。これは、結成から 11 年目を迎えた彼らの音楽の魅力がますます多くの人々に広まっていることを示しています。2024 年 12 月に開催される次回公演では、NFT デジタルスタンプを取得したリピーターに対して特典をご用意しており、さらなる魅力発信を目指します。SPS は今後も新しいアイデアを通じて顧客体験価値を向上させ、より豊かな文化芸術体験を創出するために取り組んでまいります。